

## 海外安全対策情報（平成30年4月～6月（平成30年度第1四半期））

### 1. 社会・治安情勢

イエメン各地で正統政府と反政府勢力の戦闘が継続し、国内の人道状況、経済状況の悪化が深刻化しています。2018年6月末現在、反政府勢力が首都サヌアを中心とする北部地域を実効支配する一方、イエメン正統政府はアデンを中心に南部地域を統治しています。

(1) 2015年3月26日以降、ハーディ大統領の要請を受けたサウジアラビア主導連合軍が正統政府を支援する形でイエメン全土にて軍事行動を展開。2018年6月末現在、サヌア、サアダ、タイズ、マアリブ、ジョウフ、ハッジャ、シャブワ、ラヘジ、ホデイダ、ベイダ、サウジアラビア・イエメン国境地帯等で、空爆や戦闘が続いています。6月には、ホデイダ周辺において連合軍による大規模な軍事行動が展開され、多くの避難民が発生しています。

(2) サヌア市内では強盗等の一般犯罪が増加しています。

(3) 南部地域では、「アラビア半島のアル・カーイダ」(AQAP) および「イラク・レバントのイスラム国」(ISIL) 戦闘員が活動しており、治安部隊等はAQAP潜伏地域での掃討作戦を継続しています。また、米国はアビヤン県、シャブワ県、ベイダ県、マアリブ県等で、AQAPに対する無人機攻撃を継続しています。

(4) 2017年4月末頃から拡大したコレラについては、感染者数の減少の兆候が国連から報告されていますが、国際機関は現在もイエメン各地にてワクチン接種等実施しています。また、イッブ、ホデイダを中心にジフテリアの感染が広がっており、死者も報告されています。

### 2. テロ・爆弾事件等発生状況（空爆、戦闘を除く。）

(1) 4月3日、反政府勢力がホデイダ沖のサウジ・オイルタンカーを攻撃。

(2) 4月7日、アデン市内で、武装分子によるバイク上からの銃撃により、政府軍兵士1名が死亡。

(3) 4月9日、ハドラマウト県セイユンで、武装分子によるバイク上からの銃撃で、部族長と兵士1名が死亡。

(4) 5月9日、アデン県ムアッラで、武装分子により宗教説教師が殺害された。

(5) 5月15日、アデン県インマー地区にて大学関係者及びその親族計3名が武装分子により殺害された。

(6) 5月28日、ダマール県で、治安当局は不審車両から1577キロの麻薬（ハシーシュ）を押収した。

(7) 5月30日、アデン市で、治安部隊がモスク付近に爆弾を仕掛けようとしていた人物を逮捕した。

(8) 6月5日、アデン県で、身元不明の武装分子により治安部隊兵士1名が殺害された。

(9) 6月24日、対テロ部隊はラヘジ県で、危険テロ分子4名(外国人1名を含む)を拘束した。

(10) 6月25日、ラヘジ県ビル・ナセル地区で、人身売買を目的とする子供の誘拐未遂事案が発生した。

(11) 6月25日、アビヤン県アハワル郡で、AQAP分子が治安部隊車両に対して爆弾を投下、兵士9名が負傷した。

(12) 6月27日、アデンのホール・マクサル地区で、爆発が発生し軍高官2名が負傷。

(13) 6月27日、マアリブ県で、同県治安局は、サヌアへ輸送途中の麻薬(ハシーシュ)合計563キロを押収した。